

就任のご挨拶

事務局
標準化推進部長

い い ながとし
井伊 長史



2025年11月よりJAHIS標準化推進部会の事務局部長に就任いたしました井伊 長史です。どうぞよろしくお願いいたします。

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。

「出身は彦根ですか?」とよく聞かれますが、残念ながら大阪府豊中市に生まれました。今は千葉県船橋市に妻と6匹の愛猫と暮らしています。1987年に住友電気工業に入社し、経理部門を中心に働いてまいりましたが、2004年に東芝と住友電気工業との合弁会社である東芝住電医療情報システムズ(TSMED)の発足に伴い同社へ転籍し、そこからヘルスケアITの世界に深く関わることになりました。その後は合併・事業譲渡等を経てキヤノンメディカルシステムズの所属となり、ヘルスケアIT事業統括部門の業務担当として計数、人事、情報セキュリティ等の管理に携わっておりました。

もう20年近くも前のこととなりますが、TSMED時代には監事会社としてJAHISの会計監査を担当したこともあり、その時がJAHISと関りを持った最初になります。当時のJAHISは虎ノ門に在り、事務所も今より小さかった記憶があります。

趣味は、時代劇鑑賞と主に戦国時代を中心とする歴史探求です。CS放送の「時代劇専門チャンネル」が大好きで、観はじめるとテレビの前から動かなくなるため妻から大いに疎まれています。特に好きな番組は池波正太郎原作の「剣客商売」や「鬼平犯科帳」シリーズで、リピート放送であっても飽きることなく視聴しているため大半のストーリーは記憶してしまっているほどです。私の時代劇好きは小学生の頃からですので、我ながら少々変わった子供だったと思っています。昨今は制作コストの関係から時代劇のテレビ放送がめっきり



少なくなってしまう悲しい限りですが、NHKの大河ドラマには頑張って時代劇を制作してもらいたいと願っています。

また、完全リタイア後は全国に12城存在する現存天守（江戸時代以前に建てられ現存する天守閣）を巡ってみたいと考えています。現存天守とは国宝に指定されている松本城、犬山城、彦根城、姫路城、松江城の5城と重要文化財に指定されている、弘前城、丸岡城、備中松山城、丸亀城、松山城（伊予松山城）、宇和島城、高知城の7城で構成されます。皆さんはなぜ同じ江戸時代以前に建てられた現存する天守であるにもかかわらず、国宝と重要文化財に分かれているかご存じでしょうか。重要文化財とは有形文化財のうち、歴史的、芸術上価値の高いものとして国が指定するものを指しますが、国宝は重要文化財の中から、さらに世界文化の見地から価値が高く、たぐいえない国民の宝と認められた特に重要なものが指定されます。つまり、全ての国宝は重要文化財なのですが、全ての重要文化財が国宝になるわけではありません。また、重要文化財の中から国宝に指定されるためには明確な数値基準はなく、「古さ」「美しさ」「歴史的・建築的価値」などが総合的に評価されたものが国宝に指定されます。つまり、数値的な基準ではなく、人が恣意的に選んだものが国宝に指定されることになり、私もこの事実を知ったときは少々驚きました。今までも姫路城、彦根城、犬山城は訪れたことがありますが、この3城も含め現存天守を有する城郭をゆっくり訪れ、悠久の時代を懐かしみたいと思っています。

最後になりましたが、JAHIS事務局の一員として少しでも貢献できるよう努力してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

JAHIS事務局長となりました

事務局長

ふくま こうじ
福間 衡治



2025年12月より、JAHISの事務局長を拝命いたしました福間衡治と申します。

2020年6月から2年間は事業推進部長、2022年6月からは運営部担当運営幹事、そして2024年6月からは医療システム部会長としてJAHIS活動に携わってまいりました。

1年半ほど前には、部会長として「JAHIS活動の醍醐味」を会誌に寄稿いたしましたが、今回は少し肩の力を抜き、『JAHIS広場』風に、私の大好きな“ビール”について語らせていただきます。

ビールへの想い

ビールが大好きです。

高まる尿酸値とにらめっこしながらも、毎日欠かさず飲んでいきます。そう、365日です。

好きが高じて「ビール検定2級」も取得しました。せっかくなので、ここで歴史・スタイル・ブリュワリー・スポットについておさらいを兼ねて書き進めます。

ビールの歴史

世界におけるビールの起源は、古代エジプトやメソポタミアに遡ります。雨で濡れて発酵したパンにストローのようなものを差して飲んでいたとされ、宗教儀式や日常生活で広く親しまれていました。

日本では、1853年に蘭学医・川本幸民が文献を参考に試醸したのが最初とされます。

1860年には、福沢諭吉が遣米使節に随行した際に初めてビールを口にし、著書『西洋衣食住』の中で「麦酒は苦味があるが、胸郭を開くために妙なり」と記しています。私の大好きな言葉のひとつです。

その後、

- 1870年：横浜でスプリングバレー創業
- 1876年：札幌で開拓使麦酒醸造所
- 1889年：大阪吹田でアサヒ創業

と続き、戦後の大手4社体制を経て、1994年の酒税法改正が大きな転換点となり、日本でも多様なビールが楽しめるようになりました。

ビールのスタイル

ビールのスタイルは100~200種類以上あるとも言われますが、発酵方法で大きく3つに分類できます。

●ラガー（下面発酵）

タンクの底で発酵する製法。

すっきりとしたキレのある味わいで、日本の大手ビールの多くがこのスタイルです。

●エール（上面発酵）

酵母がタンク上部に浮かび、香り豊かで個性的なビールに。

IPA、ペールエール、スタウト、パイツェンなどが代表で、私がビールに深くハマったきっかけもこのエールでした。

●自然発酵（ランビック）

ベルギーの野生酵母による自然発酵。

カンティヨン（Cantillon）のグーズやフランボワーズは世界中から“巡礼者”が訪れるほどで、一度は味わいたいビールです。

おすすめのクラフトビール

ここからは、私が個人的に大好きな日本のブルワリーをご紹介します。COIはございません。

●うちゅうブルーイング（山梨）

ホップを大量に使ったヘイジーIPAが圧巻。

発売と同時に売り切れる「うちゅう戦争」が起きるほど。

フラッグシップの「宇宙IPA」はもちろん、どれも最高です。



●伊勢角屋麦酒（三重）

1575年創業の老舗餅屋21代目、鈴木成宗さんが1997年に立ち上げたブルワリー。

世界的受賞を重ねる日本屈指の“発酵野郎”。

「伊勢ペ（ペールエール）」や「ねこにひき（ヘイジーIPA）」は病みつきになります。

●箕面ビール（大阪）

家族経営の温かいブルワリー。

“まさじい”こと大下正司さんの系譜を受け継ぐ「おさる」シリーズが有名。

W-IPA、スタウト、ゆずホ和イト、そして毎年楽しみな「桃ヴァイツェン」4種はコンプリート必須です。

その他にも、志賀高原（長野）、WCB（静岡）、ブラックタイド（宮城）など、全国で素晴らしいブルワリーが切磋琢磨しています。

おいしいビールが飲める場所（JAHIS周辺）

JAHISの周辺には、驚くほど“うまいビール”が飲める店が揃っています。

●ビアライゼ98（新橋）

JAHISビル裏手すぐ。

ビール注ぎの名人・松尾光平さんが、70年前の希少サーバーで極上の生ビールを提供。
名物メンチカツも絶品です。

●ブラッセリー・ビアブルヴァード（新橋）

松尾さんの弟子とされる佐藤さんが率いる店。

3種の注ぎ方で“日本一うまいスーパードライ”を味わえます。

●伊勢角屋麦酒 新橋店

樽生クラフトビール10~13種と三重食材の料理が楽しめる公式店舗。

●Uchu Brewing 虎ノ門

うちゅうブルーイングの都内初直営店。

鮮烈なホップ香のIPAからスムージー系まで、常時入れ替わる宇宙ビールをその場で堪能できます。

おわりに

JAHISが掲げる2030ビジョン「健康で豊かな国民生活を支える保健医療福祉情報システムの実現」に向けて取り組むことは、私自身、そして家族や将来世代が健康で穏やかに暮らせる社会への貢献につながると信じています。

ぜひ一緒にしっかり働いて働いて働いて、そして、一緒においしい麦酒を楽しみましょう。

